

教団新報

定 価 1 部 144 円 (本 体 133 円 千 共 206 円)
予 約 購 読 料 1 年 分 千 共 5,150 円
紙 代 の み 3,600 円
振 替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日 本 基 督 教 団
169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
一時移転先 169-0072 東京都新宿区大久保 1-7-18
電話 03(3202)0546、FAX03(3207)3918
URL http://uccj.org
発行人 長 崎 哲 夫
編集主筆 渡 邊 義 彦
印刷所 株式会社きかんし



愛知教会 (中部教区愛知西地区)

その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。そう言って、手とわき腹とお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」そう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。だれの罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される。だれの罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る。」十二人の一人でディディモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった。そこで、ほかの弟子たちが、「わたしたちは主を見た」と言うと、トマスは言った。「あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れてみなければ、また、この手をそのわき腹に入れてみなければ、わたしは決して信じない。」さて八日の後、弟子たちはまた家の中におり、トマスも一緒にいた。戸にはみな鍵がかけてあったのに、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。また、あなたの手を伸ばし、わたしのわき腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」トマスは答えて、「わたしの主、わたしの神よ」と言った。イエスはトマスに言われた。「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は、幸いである。」

ヨハネによる福音書 20:19 ~ 29

その後、彼は、教会員から紹介してもらった仕事場で働き始め、軌道に乗り始めた。その時に、交通事故に遭い、命を落とした。わたしは彼の前後式式次第を作った。そして、前後式の準備を整えてから、牧師先生と共に納棺をするために彼の家に向かった。

そこで考えられないようなアクシデントがあった。それは背の高かった彼が、棺に入らないのである。葬儀社のミスで、死後硬直をする前に膝を曲げておかなければならなかったのに、

び、そしてまた明日を恐れる、その繰り返し。わたしは、その繰り返しであった。そんなわたしに対して、その命と身体を持つて、復活の信仰をわたしの血肉としてくれた一人の青年がいた。わたしは彼を子ども時代から知っており、神学生として会堂守をしていたわたしの部屋に、時々遊びに来てくれた。貧乏学生であったわたしは、袋のラーメンを、なんの具も入れずに振る舞うのが、彼とわたし

との暗黙の了解となっていた。彼は純粋な故に、大人たちの世界における不純さに耐えられなかった。多くの青年たちは、そんな場面と出会いながら、違和感を感じつつも、適当なところで折り合いをつけて大人になつていく。しかし、彼はその「折り合い」をつけることができなかった。その違和感、その怒りが暴力となつた時であれば、暴走族に入り暴れ回ったりすることにもなった。

彼は自分の人生を立て直していく中で、暴走族とも縁を切ろうとしたが、上手に自分の気持ちを伝えられずに彼らの怒りを買ってしまった。わたしの携帯電話に彼から「暴走族に囲まれて、バイト先のスーパーから出られなくなった。助けてくれ」と連絡があった。教会の教育主事をしていた先生と神学生のわたしで助けに行く途中にも電話があり、「あいつらは刃物を持っているから来るな」とも連絡があった。とにかく現場のスーパーに駆けつける

と30人くらいの暴走族がスーパーを囲んで、大騒ぎになっていた。

わたしは暴走族のリーダーと話を付けて、リーダーに丁寧に謝らせることで彼を助けた。どんな立場であっても、世話になった人間に対して不義理を犯すことは間違っている。そのことを彼に教える機会にもなった。

イエスターの朝、弟子たちはユダヤ人を恐れ、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。「自分たちも十字架に付けられて殺される」この思いが弟子たちを支配していた。「こんなはずではなかった」ユダヤ人の王として君臨するはずであった、自分たちの主であるイエス様が十字架に付けられて殺されてしまった。権力

争いに敗れて、指導者を殺された群れ。それがイエスターの朝の、復活のイエス様と出会う前までの弟子たちであった。

恐れに支配された弟子たちの中心に、復活されたイエス様が立たれる。あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。当然の如く弟子たちは喜んだ。しかし、その後のトマスの言葉によって、弟子たちは再び

恐れに陥り、復活をされたイエス様と出会うているのにも関わらず、戸に鍵をかけておびえていた。イエス様は、どうやってこの弟子たちを復活の証人

として導かれたのか？ それは、ご自分の身体を用いてである。弟子たちが復活の証人となり得たのは、イエス様が釘で刺し貫かれた手を見せ、槍で刺し貫かれた

信仰者としてのわたしの血肉にはなっていないかと言え。頭では理解し、受け入れているが、それが具体的にわたしの人生や信仰生活に迫ってくることはなかった。試練の度に恐れ、神の救いに与りながら喜

び、そしてまた明日を恐れる、その繰り返し。わたしは、その繰り返しであった。そんなわたしに対して、その命と身体を持つて、復活の信仰をわたしの血肉としてくれた一人の青年がいた。わたしは彼を子ども時代から知っており、神学生として会堂守をしていたわたしの部屋に、時々遊びに来てくれた。貧乏学生であったわたしは、袋のラーメンを、なんの具も入れずに振る舞うのが、彼とわたし

との暗黙の了解となっていた。彼は純粋な故に、大人たちの世界における不純さに耐えられなかった。多くの青年たちは、そんな場面と出会いながら、違和感を感じつつも、適当なところで折り合いをつけて大人になつていく。しかし、彼はその「折り合い」をつけることができなかった。その違和感、その怒りが暴力となつた時であれば、暴走族に入り暴れ回ったりすることにもなった。

彼は自分の人生を立て直していく中で、暴走族とも縁を切ろうとしたが、上手に自分の気持ちを伝えられずに彼らの怒りを買ってしまった。わたしの携帯電話に彼から「暴走族に囲まれて、バイト先のスーパーから出られなくなった。助けてくれ」と連絡があった。教会の教育主事をしていた先生と神学生のわたしで助けに行く途中にも電話があり、「あいつらは刃物を持っているから来るな」とも連絡があった。とにかく現場のスーパーに駆けつける

と30人くらいの暴走族がスーパーを囲んで、大騒ぎになっていた。

わたしは暴走族のリーダーと話を付けて、リーダーに丁寧に謝らせることで彼を助けた。どんな立場であっても、世話になった人間に対して不義理を犯すことは間違っている。そのことを彼に教える機会にもなった。

恐れの中にある弟子たち

イエスターメッセージ

あなたの指と手を、
わたしの手とわき腹に入れなさい

ヨハネによる福音書 20章 19節 ~ 29節



吉澤 永

復活の勝利を信じて

「肉親」という言葉の意味を示されている。今も身体の一部がなくなってしまうような喪失感に苛まれている。そして、わたしもやがて、この肉体が減じる時が必ず来ることを否応なく示されている。

信仰の弱さ、愚かさ、肉体の朽ちていくそのすべてから、わたしは朽ちていく自分自身を見いだし、それ故に、朽ちることのない復活の命に希望をおく。私たちのすべてを洗い清め、永遠の命へと繋げて下さるために、イエス様は十字架に架かり、復活の勝利を遂げられた。この福音を力強く語る新たな歩みを、イエスターの時から踏み出していきたい。

(愛知教会牧師)

▼信仰職制委員会▲

組織後、直ちに4諮問を取り扱う

2月27日、第39総会期最初の信仰職制委員会を教団会議室Aで開催した。委員7名全員出席し、自



後列左から須田拓、小池磨理子、中村公一、武田真治
前列左から宮地書記、藤盛委員長、田村博

己紹介後、招集者の藤盛勇紀委員長が信仰職制委員会について、教規第40条、44条に基づいて説明。委員長は、

藤盛委員、書記に宮地健一委員を選出した。

続いて、長崎哲夫総幹事が挨拶のために入室。委員会は、毅然として、是々非々を明らかにし、曖昧さを残さない「ようにしてほしい」と激励して退室。その後、前総会期の信仰職制委員会から「教憲のコンメンタルを作ることを考えて、教憲の学びを継続して欲しい」、また、按手札を含む式文の扱いについて検討して欲しい」という申し送り

を確認。昼食を挟んで、神奈川教区議長と総幹事からの諮問に答申した。

神奈川教区の諮問①「北村慈郎氏の身分について確認」と諮問②「教会規則の

規定は、特に教会総会の定足数は、宗教法人規則の準則に拘束されるか」の二つ。

諮問①について「北村氏は教規142条(3)免職、戒規に付され、教師の身分及び資格を喪失した教師です」と、諮問②については「教会規則の規定や教会総会の

定足数は、宗教法人規則の準則には拘束されないが、現宗教法人規則の制定の趣旨に従って、この準則を尊重すべきである」と答申した。

総幹事の諮問①「日本基督教団の補教師が、按手札を受けることなく、他教派の按手札を受領した後、教団教師として登録するのは可能か」と諮問②「日本基督教団の補教師検定試験に合格した者が、准允を受け

ることなく、他教派の按手札を受領した後、教団に転入することは可能か。また、その転入は、正教師としての転入とすることができなか

かであった。両諮問とも、教規131条の「本教団に属さない教師が本教団の教師になる問題であり、本教団の補教師が本教団を退任することなく、他の教団の教師をしていた問題ともなるので、教団の補教師を退職後、他の教団教師とし

て、教団の教師になるべく手続きを取るのが筋であろうが、これは当委員会が答申すべき問題でなく、事務的に処理しうる問題と考えて、事務局に対処を依頼した。

式文の取り扱いに関する方針は今回の委員会の議題とすることとした。

今回は6月29日、30日に開催予定。

(宮地健一報)

▼教師委員会▲

新任教師オリエンテーション会場について今後検討

3月2日、第39総会期第1回教師委員会を教団会議室で開催した。各委員の自

己紹介の後に、委員長に菅原力(弓町本郷)、書記に大友英樹(赤羽)を選出した。

3月2日、第39総会期第1回教師委員会を教団会議室で開催した。各委員の自

己紹介の後に、委員長に菅原力(弓町本郷)、書記に大友英樹(赤羽)を選出した。

た。その他の委員は島田勝彦(中野)、古旗誠(目黒)、宮川経宣(仙台五橋)、関川瑞恵(大森めぐみ)、福島純雄(筑波学園)、前期後、今回の主な議事として2つの議事が協議された。

現委員が5名という構成である。

前総会期からの申し送り事項など諸報告を承認した後、今回の主な議事として2つの議事が協議された。

まず第1として、6月15日、17日に開催する「新任教師オリエンテーション」について協議した。これは教師委員会がかさどる事項のうち、教師の育成・研修にあたる事項である。会

場は例年のように天城山荘(静岡県伊豆)であるが、会場設定については今後検討することとした。プログラムについては「教団の教師として宣教を共に担う」とのこれまでの主題を継承して立案した。内容は例年とさほどの変化はないが、今回は特別講演として外部講師を招かないことにし、常議員会で設置された「教師養成制度検討委員会」の時間を設けることにした。

教団の教師として准允を受けた新任教師にとって、一度限りの「新任教師オリエンテーション」ではあるが、教団の教師であるという自覚と結束が与えられ、実り豊かな時となるように願っている。

次に神学校問安について協議をした。教師委員会のかさどる事項として教師養成機関の事項があり、隔年で教団立神学校および

認可神学校を問安している。今年はその問安の年にあたる。この問安では教団の教師養成の働きへの感謝と共に、神学校教育の課題などについて懇談する機会であり、教師委員会が教団と神学校の窓口ともなっている。問安は関西2校、関東4校を2グループにして

実施するが、委員会では候補日を挙げて神学校側と日程を調整することにした。次回委員会は6月の新任教師オリエンテーションの時に開催予定である。

(大友英樹報)

事務局報

教師隠退

清水寛子・中村喜信

◆公募◆

台湾基督長老教会での宣教体験プログラムアイラブ台湾(7/1〜18)

◎内容 現地各教会の子供青年向け夏期学校に参加する、要英語力、35才まで

◎旅費補助 教団よりの半額

◎応募期限 4月30日(必着)、書類選考あり

◎問合先 台湾協約委員会(03-320210544)

「にじのいえ信愛荘」ご案内

自然豊かな東京都青梅市に、隠退教師と配偶者のためのホームがあります。27名の方が入居できるこのホームでは、現在夫婦用、单身者用とも空き室があり、ご入居をお待ちしています。教団のセンターであるこの施設は、厳しい伝道・牧会に尽くされた隠退教師と配偶者の方々が、穏やかな日々を過ごしていただけるよう備えられました。ホームでは、毎朝の礼拝とお食事は共にしますが、その他の時間は、それぞれ自由に過ごされています。また、時おり訪問される方々との交流やお茶会など、楽しい行事もあります。

入居時には、身のまわりのことが一人でできることが条件ですが、身体の不調が出てきた場合には、スタッフが心をつくして、病院の送り迎えをはじめ、できる限りのお世話をしています。また、近隣の病院との連携も密にし、月1回の医師の往診日を設けています。希望者は、介護保険によるサービスを利用することもできます。

毎月の費用は、食費・光熱費を含め、7万円(新館)、6万5千円(旧館)ですが、お支払いが困難な場合には、ご相談に応じることになっております。詳細は、下記へ。

日本基督教団隠退教職ホーム にじのいえ信愛荘
〒198-0052 東京都青梅市長淵 2-687-2
電話 0428-22-2283、FAX0428-22-2317

「核エネルギーから持続可能エネルギーへの転換ー宗教グループに何ができるか」

国際会議

(2015年3月3日～6日 ドイツ・アーノルズハイン)

『核エネルギーから持続可能エネルギーへの転換ー宗教グループに何ができるか』を主題にした国際会議が3月3日～6日にドイツのフランクフルト近郊のアーノルズハインで行われた。昨年、仙台で行われた教団主催の国際会議を更に発展させたもので、教団より岡本知之牧師と私が招かれ、参加した。

この会議の主催はヘッセ・ナッサウ・プロテスタント教会エキュメニカルセンタ―によるもので、「教会と核戦争に反対する物理学者の国際会議」(IPPNW)を更に発展させて、エネル

ギー転換を目指す国際的なネットワークを築いていくという趣旨で開かれたものである。この国際会議の特徴は、参加者の多彩さであった。ドイツの各州教会の環境問題の担当者だけでなく、日本と韓国のプロテスタント、カトリックの代表者、活動家、日本の仏教界の活動家、僧侶、成長の家、イスラム教の環境問題と取り組んでいる人、WCCの環境問題専門家、国際ジャーナリスト、それに、原発事故による放射能汚染で深刻な被害を受けている飯館村の人、福岡で川内原発の再

核に依存して生きる生活に對する警告があることが確実である。核エネルギーの世代にこの問題を取り組む人材育成と発言の機会を与えるなど、教団としての役割を、ただ原発を叫ぶだけでなく、教会施設のエネルギー使用の方法やわれわれの生活のあり方を変えていく実践的な多くの知恵と働きも紹介された。

信仰者としてのこの問題の議論と実践を深めること、



国際ネットワーク構築のため

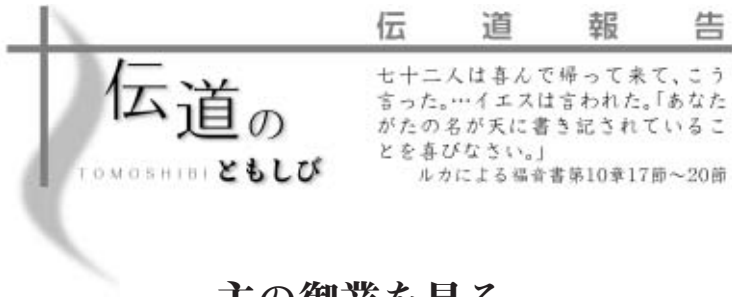


赴任して2年4ヶ月後の1998年8月のこと、一人の青年、T君が教会学校の礼拝に来ました。1回限りではないかと思っておりましたが、その後続けて来るようになり、そこでT君を囲んでのクリスマス会や夏期学校をし、また毎週日曜日の礼拝後の分級もするようになり、私とT君と2人で、10分から20分くらいの聖書の学びをしました。

ある日のことです。この時の学びの聖書はマタイによる福音書10章5節から15節、十二人の弟子たちを派遣する場面でした。その中の9節から10節に「帯の中に金貨も銀貨も銅貨も入れて行つてはならない。旅には袋も二枚の下着も、履物も杖も持つて行つてはならない」との御言葉について、T君に「イエス様はどんなことを言っておられると思いますか」と質問をしました。

仙台ホサナ教会に私が赴任したのは、1996年4月のことです。最初の任地で大変緊張しておりましたが、教会の皆さんがとても温かく迎えてくださいました。

当時の教会の祈りの課題の一つは、「教会学校の生徒が与えられますように」でした。私もその祈りの輪に加わり、教会学校の先生たちと9時からの礼拝をしていました。



主の御業を見る

仙台ホサナ教会牧師 長尾 厚志

ならない、なんてこの自分は、という思いを抱えていた時であつたからです。

そのT君の言葉に、私は、「弱いままでもいいのだ、そこに神様が働いてくださる、私は静かにして、落ち着いて、その神様の御業を見させていただければいいのだ」との思いが与えられ、今まで突っ張っていた肩の力が、すっと抜けていくような感じがしました。

その後もT君は礼拝にあずかり続けています。この間に、教会の中の数組の夫婦の間に幼な子が産まれ、その子たちが礼拝に集うようになり、さらに教会の近くに住んでいる子どもが教会に来るようになりました。

そしてクリスマスには、ページエントが出来るほどになりました。一昨年より、アドベントの第3日曜日は、合同礼拝として行い、その中で、ページエントを神様にお捧げしています。教会の皆さんは、子どもたちの成長に目を細め、そのようにしてくださった神様の御恵みに感謝をし、主の御名を讃美していました。

その歩みは一人からでした。T君を神様が教会に与えてくださったことから始まっているのです。ある聖書の御言葉が思い浮かんでまいります。

「落ち着いて、今日、あなたがたのために行われる主の救いを見なさい」(出エジプト記14章13節)。

教師検定試験公告

2015年秋季教師検定試験を左記の要領で行います。

- 1、受験要綱の申し込み
受験要綱と教団指定の願書用紙は160円切手を同封し、正教師受験志願者か補教師(A、B、Cコースの別も)受験志願者かを明記した上、封書でお申し込みください。
- 2、受験願書の提出
受験願書と必要書類を整えて、受験料とともに所属教区に提出してください。
- ①教区締切 2015年6月5日(金)(教区により締切が異なりますので、教区事務所に確認してください。)
- ②教団締切 2015年7月2日(木)(各教区から教師検定委員会に提出する際の締切です。)*受験料は正教師1万3千円、補教師1万円。
- 3、正教師「説教」「釈義」の課題テキスト
①旧約 ホセア書11章1節〜9節
②新約 ペトロの手紙一 4章1節〜6節
- 4、正教師の「神学論文」の課題
『今日における宣教の課題』に、「特に」をめぐって」という副題をつけ、ご自分の伝道・牧会をふまえて神学的に論述してください。
- 5、正教師の「組織神学」の課題
キリストの両性について、和解論をふまえて、組織神学的に論述してください。
- 6、補教師「説教」「釈義」の課題テキスト
①旧約 イサヤ書40章1節〜11節
②新約 マルコによる福音書15章25節〜32節
*コースによって「説教」「釈義」の提出内容が異なりますので、必ず受験要綱でご確認ください。
- 7、補教師(CⅢコース)の牧会学の課題
『牧会とは何か』について神学的に論述してください。
- 8、提出物締切について
当委員会への提出締切日は、「説教」「釈義」「神学論文」「組織神学」「牧会学」全て2015年7月3日(金)必着です。
- 9、学科試験・面接試験について
学科試験は9月15日(火)、面接は9月16日(水)、17日(木)に大阪クリスチャンセンターにおいて実施します。詳細は受験志願者に通知いたします。
不明な点は直接、当委員会へお問い合わせください。

2015年4月11日

日本基督教団教師検定委員会
〒169-0072 東京都新宿区大久保1-7-18
アサヒニューシティビル4F
電話 (03) 3202-0546

2015 年教区総会日程

教区	会 期	会 場	問安使
北 海	4月29日(水)10:00 ～30日(木)15:30	札幌北光教会	石橋秀雄
奥 羽	5月26日(火)12:30 ～27日(水)15:45	奥羽キリスト教センター	長崎哲夫
東 北	5月26日(火)13:00 ～27日(水)16:00	仙台青葉荘教会	長崎哲夫
関 東	5月26日(火)10:30 ～27日(水)16:00	大宮ソニックシティ	佐々木美知夫
東 京	5月26日(火)10:00 ～21:00	富士見町教会	佐々木美知夫
西東京	5月24日(日)15:30 ～25日(月)17:00	吉祥寺教会	雲然俊美
神奈川	6月27日(土)10:00	清水ヶ丘教会	佐々木美知夫
東 海	5月19日(火)13:30 ～20日(水)15:00	甲府富士屋ホテル	雲然俊美
中 部	5月19日(火)13:00 ～20日(水)13:30	名古屋中央教会	長崎哲夫
京 都	5月 4日(月)10:00 ～5日(火)15:00	京都丸太町教会	石橋秀雄
大 阪	5月 4日(月)13:00 ～5日(火)17:00	大阪女学院ホールチャペル	長崎哲夫
兵 庫	5月17日(日)17:00 ～18日(月)17:00	じばさん TAJIMA (豊岡)	石橋秀雄
東中国	5月25日(月)13:00 ～26日(火)15:00	鳥取教会	佐々木美知夫
西中国	5月12日(火)13:30 ～13日(水)16:00	カリエンテ山口	雲然俊美
四 国	4月29日(水)13:30 ～30日(木)15:00	ザ・グランドパレス徳島	雲然俊美
九 州	5月 5日(火)14:00 ～7日(木)15:00	福岡中部教会	石橋秀雄
沖 縄	5月24日(日)16:30 ～25日(月)17:00	沖縄キリスト教センター	長崎哲夫



磯貝 曉成さん

魂を育て通わせる



1948年、京都生まれ。キリスト教学校教育同盟事務局長。

「人間に普遍にある魂を問うことに導くことで、キリスト教学校の使命。そう語る磯貝曉成さんは、中学時代、人間が死によって愛する者から切り離されて行く存在であることに恐れを抱き、聖書に関心を持った。高校時代、受洗した京都教会で、キルケゴールの専門家でもあった牧師から「人はなぜ生きるのか」とのテーマを投げかけられる。愛読書「デミアン」に出て来る「神学生」に興味を抱き、同志社神学部に入學。在学中、船でロシアに渡り、北欧を経てドイツに旅する。途中、修道院で生活し、アメリカ経由で帰国。1年かけた世界一周の旅程は、神と自分に向き合う貴重な経験になったという。

大学院卒業後、静岡英和女学院で聖書科の教師として31年務め、副校長まで担った。その頃、新設される関西学院初等部の初代校長に抜擢される。この召しを受けた背後には、中高で教える中で感じ取っていた変化があった。かつての生徒は、少なからず「自分は何者なのか」との悩みを持ち、共にその問いと向かい合った。しかし、いつしか生徒たちの関心が、他者との比較の中での自分しか見なくなっていく。高度経済成長によって豊かさを享受して行く反面、個が育たず、他者との関係性も壊され、生き悩む者が生まれることに危機感を持ち、魂が育つ幼少期の子ともに出会うことに使命があると思ったのだそう。

校長として6年務め、キリスト教学校教育同盟の働きに移り3年が経った。人間の問で起っていることは、学校という集団間においても当てはまる。今こそ、各々が、建学の精神を取り戻し、個々の学校のネットワークと教会との連帯を生み出さなければならない。事務局長連絡会、「災害総合支援連絡会」、「看護教育連絡会」、「教師支援地域ネットワーク」等、6つのプロジェクトを立ち上げ、刷新の空気を吹き込んでいる。

「魂と向かい合おうとしない時代背景の中、救われて生きている者であることを伝え、魂と魂の結びつき、出会いを生み出して行くことに具体的に取り組んでいきたい」と熱く語る。